



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月9日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	11,733	3.0	103	73.8	154	47.2	111	46.8
2018年3月期第1四半期	12,098	6.5	396		292		209	

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 91百万円 (58.8%) 2018年3月期第1四半期 222百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	2.33	
2018年3月期第1四半期	4.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	28,457	4,167	14.5	86.45
2018年3月期	29,938	4,076	13.5	84.54

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 4,132百万円 2018年3月期 4,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2019年3月期	0.00				
2019年3月期(予想)		0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,315	0.6	868	526.1	818		643		13.45
通期	50,000	0.0	2,190	75.7	2,100	106.0	1,610	36.4	33.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	48,919,396 株	2018年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,113,923 株	2018年3月期	1,113,923 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	47,805,473 株	2018年3月期1Q	47,805,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
部門別連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や内外政治情勢の不安定さなどにより先行き不透明感が残るものの、企業収益や雇用環境が改善し、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、太陽光発電市場を取り巻く事業環境を背景に策定した「中期経営計画(2016年度～2018年度)」に即して、抜本的な経営合理化を推し進めるとともに、前連結会計年度において「S・E・HS・E S事業統括本部」を新設し、S・E、HS、E Sの3事業が互いに連携することで効果的な営業、効率的な施工が行える体制に移行するとともに、当第1四半期連結累計期間においてもS・E事業部門からHS及びE S事業部門への異動により一層の人員適正化を図りました。

売上高につきましては、人員等経営資源を配分し事業規模の拡大を進めたことによりHS事業部門、E S事業部門がそれぞれ増収となり、新電力事業に係る電力販売量が拡大したことにより環境資源開発事業部門が増収となりました。その一方で、太陽光発電に係る市場規模縮小等の影響を受けS・E事業部門は大幅な減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は11,733百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

利益につきましては、増収を背景としてHS事業部門、E S事業部門、環境資源開発事業部門はそれぞれ増益となりました。その一方で、減収幅が大きかったS・E事業部門は大幅な減益となりました。この結果、グループ全体の損益は、103百万円の営業利益(前年同期比73.8%減)、154百万円の経常利益(前年同期比47.2%減)、111百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比46.8%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① S・E(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

「太陽光発電システム」が減収となりました。太陽光発電における市場規模縮小による影響に加え、当第1四半期連結累計期間中において、F I Tの事業計画認定に想定以上の遅れがあり、全体的に後ズレする状況となりました。この結果、売上高は2,779百万円(前年同期比38.2%減)と減収幅が大きくなりました。

営業損益は、HS事業部門への人員の異動等により経費削減、材料原価の低減等を推進しましたが、減収による減益幅が大きく、88百万円の営業損失(前年同期は442百万円の営業利益)となりました。

② HS(ホーム・サンテーション)事業部門

HS事業部門の事業規模拡大を目的に、異動により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化しました。「白蟻防除施工」が前年同期比27.0%増、「床下・天井裏換気システム」が同30.6%増、「基礎補修・家屋補強工事」が同24.1%増となり、この結果、売上高は2,711百万円(前年同期比16.4%増)となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収幅が大きかったことや、施工効率の改善や外注加工費率の低下などにより、580百万円の営業利益(前年同期比44.2%増)となりました。

③ E S(エスタブリッシュメント・サンテーション)事業部門

E S事業部門の事業規模拡大を目的に、異動により人員増を図るとともに、ビル・マンション等のオーナーに対する営業強化、管理会社等提携先の関係強化を図ることで、主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比104.2%増となり、この結果、売上高は415百万円(前年同期比33.8%増)となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収幅が大きかったことや、施工効率の改善や外注加工費率の低下などにより、52百万円の営業利益(前年同期比30.7%増)となりました。

④ 環境資源開発事業部門

燃料化を目的とする廃プラスチック類の受入量が増加し、「プラスチック燃料」が前年同期比11.9%増、新電力事業が拡大し、「売電収入」が前年同期比29.3%増となりました。この結果、売上高は5,826百万円(前年同期比17.5%増)となりました。

営業損益は、プラスチック燃料について、廃プラスチック類の受入単価がアップし、燃料品質の向上及び効率性の改善により原価が低減し、また新電力事業による増収及び電力調達コストの安定化が寄与し、439百万円の営業利益(前年同期比29.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は28,457百万円となり、前連結会計年度末比で1,480百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が1,348百万円減少したためであります。負債合計は24,289百万円となり、前連結会計年度末比で1,571百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,107百万円、短期借入金が288百万円、未払金が166百万円減少したためであります。純資産合計は4,167百万円となり、前連結会計年度末比で91百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益111百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末13.5%に対し、当第1四半期連結会計期間末は14.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,482	4,134
受取手形及び売掛金	5,485	5,084
商品及び製品	273	238
未成工事支出金	209	197
原材料及び貯蔵品	4,035	4,153
その他	797	1,027
貸倒引当金	△525	△509
流動資産合計	15,759	14,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,080	2,009
機械装置及び運搬具(純額)	1,189	1,251
土地	7,811	7,811
その他(純額)	844	792
有形固定資産合計	11,926	11,863
無形固定資産		
のれん	65	37
その他	148	153
無形固定資産合計	214	191
投資その他の資産	2,037	2,074
固定資産合計	14,178	14,129
資産合計	29,938	28,457
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,079	3,971
短期借入金	11,685	11,397
1年内返済予定の長期借入金	140	129
未払金	3,069	2,902
未払法人税等	409	478
引当金	27	20
その他	2,592	2,511
流動負債合計	23,003	21,410
固定負債		
長期借入金	325	304
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	573	581
退職給付に係る負債	1,465	1,488
その他	483	494
固定負債合計	2,857	2,878
負債合計	25,861	24,289

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△8,597	△8,486
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	3,964	4,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	68
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	3	△9
退職給付に係る調整累計額	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	76	56
非支配株主持分	35	34
純資産合計	4,076	4,167
負債純資産合計	29,938	28,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	12,098	11,733
売上原価	8,376	8,193
売上総利益	3,722	3,540
販売費及び一般管理費	3,325	3,436
営業利益	396	103
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	1
受取地代家賃	15	16
為替差益	—	11
補助金収入	20	0
受取補償金	—	70
その他	18	6
営業外収益合計	58	107
営業外費用		
支払利息	53	47
為替差損	38	—
その他	69	8
営業外費用合計	161	56
経常利益	292	154
税金等調整前四半期純利益	292	154
法人税、住民税及び事業税	84	85
法人税等調整額	△1	△42
法人税等合計	82	43
四半期純利益	210	111
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	209	111

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	210	111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△8
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	6	△13
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	12	△19
四半期包括利益	222	91
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221	91
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業部門	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,500	2,329	310	4,957	12,098	—	12,098
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,500	2,329	310	4,957	12,098	—	12,098
セグメント利益	442	402	40	338	1,223	△826	396

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用826百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業部門	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,779	2,711	415	5,826	11,733	—	11,733
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,779	2,711	415	5,826	11,733	—	11,733
セグメント利益 又は損失(△)	△88	580	52	439	984	△880	103

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用880百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品目	数量 単位	前第1四半期 連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日		比較増減	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
太陽光発電システム	kW	22,397	4,147	14,099	2,602	△8,297	△1,545
太陽光発電システム卸販売	—	—	266	—	114	—	△151
その他	—	—	86	—	62	—	△23
S E 事業部門計	—	—	4,500	—	2,779	—	△1,720
白蟻防除施工	千坪	129	728	165	925	36	196
床下・天井裏換気システム	—	—	315	—	411	—	96
基礎補修・家屋補強工事	軒	1,299	460	1,553	571	254	111
その他	—	—	825	—	803	—	△21
H S 事業部門計	—	—	2,329	—	2,711	—	382
防錆機器取付施工	本	93	100	191	206	98	105
建物給排水補修施工	—	—	83	—	75	—	△7
建物防水塗装補修施工	—	—	28	—	34	—	5
その他	—	—	97	—	98	—	1
E S 事業部門計	—	—	310	—	415	—	104
プラスチック燃料	t	81,720	1,835	84,496	2,052	2,775	217
売電収入	—	—	2,318	—	2,996	—	678
有機廃液処理	t	30,010	460	23,396	409	△6,614	△50
埋立処理	—	—	164	—	203	—	39
その他	—	—	179	—	164	—	△15
環境資源開発事業部門計	—	—	4,957	—	5,826	—	868
売上高計	—	—	12,098	—	11,733	—	△365

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。